



学校だより

大田区立南蒲小学校

当たり前の日常に感謝して

副校長 河野 真典

待ちに待った学校生活が始まります。校庭の桜の木は、始業式の薄ピンクの花びらではなく、既に新緑のまぶしい木に変わりました。保護者の皆さま、地域の皆さま、休校期間中の子どもの心への支えをありがとうございます。また、まだ油断はできない状況ですが、三ヶ月の休校期間を振り返って、学校が開かれなかったこと、子どもが、どれだけ異常なことであるかを痛感させられました。学生の頃、学校が嫌いという訳ではなくても、休日や祝日、長期休業が嬉しく感じ、それは教員になっても同じ気持ちだったように思います。それが、今回の三ヶ月で、学校についてこんなにも大切なものなんだという気持ちにさせられた人は、少なくないと思います。四月、五月の学校生活を振り返ることは、難しいことです。しかし、当たり前でなくなっている日常が戻ってきたことの喜びを大切にしたい。一日一日の学校生活は、子どもたちの心のケアを最優先に考え、焦らず、ゆっくり、感謝の気持ちをもつて、学校生活を取り戻していきたいと考えています。三密に気を付け、体育、音楽、家庭科、対話活動、給食などは、特に気を付けながら指導していきます。人と接することを控えることが常識になつてきている中ではありますが、心と心のつながりは、今まで同様大切にしていきたいと思っています。最後に、学校休校期間中に私が目を覚まされたトピック「環境のせいにして、やるべきことを疎かにしていないか」東京マラソン日本代表の山内将司選手の言葉です。どんな状況でも「今やれることをやる」、これが大事なんだと、気持ちの萎えていた自分に活力を入れてもらえた一言でした。

六月生活目標

「健康で安全な生活をしよう」

- 第一週 ハンカチ、マスクを必ず身につけよう。
- 第二週 しつかりと手洗いをし、清潔にしよう。
- 第三週 学校のきまりを確かめよう。
- 第四週 ろうかは静かに右側を歩こう。

今年度の研究主題について

研究主任 早川 真理亜

今年度は、昨年度の算数における関心意欲の向上という主題から得た成果と課題を踏まえ、

「基礎的な学力の確かな定着を図る指導の工夫」

という、主題といたしました。主に算数において、数と計算の領域を中心とした基礎的な学力の向上を目指します。導入で前時の復習をすることや、具体物やICTの活用、苦手意識を持つっている子どもへの個別指導の方法などを工夫して、効果的に行えるよう研究を進めます。休校中に進められなかった学習についても確実に定着を図るよう、教員が一丸となって指導を行います。

家庭と連携した支援

特別支援コーディネーター 相澤 聖香

特別支援教育が年々充実しています。サポートルームで力をつけ、自信を持つて生活できるようになる子が増えたり、教員も、専門家にクラスの様子を観察してもらい、支援の助言を学級経営に生かしたりして、成果を上げています。

特別と名前がついていますが、一人一人に応じた支援をするのは当たり前のことです。支援には家庭との連携が不可欠です。

個人面談では、お子さんの特性を共有し、より良い成長を探る機会にしたいと考えています。

六月行事予定

※ ○囲みは学年

- 一日(月) 分散登校開始
- 八日(月) 地域巡視(十二日まで)
- 早寝早起き朝ご飯週間(十九日まで)
- 一〇日(水) 給食開始・安全指導
- 一五日(月) 家庭学習定着週間開始(一九日まで)
- 二二日(月) 全校朝会
- 二四日(水) 短縮四時間授業
- 二五日(木) 避難訓練(地震)
- 二七日(土) 臨時土曜授業・四時間授業
- 二九日(水) 児童集会(一年生を迎える会)
- 委員会⑤⑥
- 三十日(木) 代表委員会

《七月の主な行事》

- 一日(水) 自転車教室③
- 四日(土) 臨時土曜授業
- 六日(月) 児童集会・委員会活動⑤⑥
- 八日(水) 四時間授業・避難訓練一斉下校
- 安全指導
- 一〇日(金) たてわり班遊び・代表委員会
- 一日(土) 土曜四時間授業
- 三日(月) 音楽朝会・クラブ活動④⑤⑥
- 一八日(金) 給食終了
- 二〇日(月) 四時間授業
- 二一日(火) 夏季追加授業四時間授業(八月七日まで)
- 二七日(月) 三者面談(三〇日まで)

※五月二十五日現在の予定です。今後、変更される場合があります。各学年便り等のお知らせを随時ご確認ください。

